



住宅の火災安全チェックリスト

Fact Sheet 10 – Community Risk Management. Revised 1/11/2005

事実

NSW 州消防庁は 2004 年、4,226 件の住宅火災に出動したと発表しました。そのうち、1007 件はストーブを用いた調理など、熱源機器の置きっ放しによるものであり、430 件が漏電によるものでした。

家の中で火災源となることが多い場所は、台所(1,886 件)、寝室(507 件)、居間(383 件)です。調理機器や設備がかかっている火災は 861 件、暖房器具やシステムがかかっているものは 165 件でした。
(2005 年 6 月 16 日現在の統計による)

あなたの家の火災安全は大丈夫ですか？

NSW 州消防庁は、住宅の火災安全を確保するために、以下の簡単な安全チェックリストを推奨しています。

- 十分な数の煙警報機を設置して定期的にそれらをチェックすることは、自宅の火災安全計画の重要な一部です。
- 自宅用の火災時避難計画を作成し、定期的に予行演習しましょう。
- すべての施錠されたドアの鍵は、避難時にすぐ持っていけるように準備しておきましょう。
- ろうそくや石油ストーブを含む裸火や調理用の火気は、必ず目が行き届く状態で使用しましょう。
- 乾燥機を使用する際は、毎回リントフィルター（糸くずフィルター）を掃除しましょう。
- 絶対にベッドで喫煙しないでください。また、アルコールを飲みながらタバコを吸う際は十分に注意しましょう。
- 冬にヒーター、電気毛布、裸火を使用する際は十分に注意しましょう。
- 電源にコンセントを挿しすぎて容量を越えてしまわないようにしましょう。また、使用しないときは電気製品のスイッチを切っておきましょう。
- ライターやマッチは常に子どもたちの手の届かないところに保管しましょう。また、それらが『おもちゃではなく道具』であり、責任ある大人だけが使用できるのだということを子どもたちに言い聞かせましょう。
- ガレージか物置を持っている人は、保管している化学薬品や燃料には十分に注意しましょう。また、芝刈り機等に燃料を補充するときは、必ずそれらの機械が熱を持っていないことを確かめてから屋外で補充しましょう。
- ガスや電気や木を燃料とするバーベキュー機器を持っている人は、点火するまえに必ず安全で正常に作動していることを確認し、作動中は常に責任ある大人が取り扱うようにしましょう。（ファクトシート 16 安全なバーベキューのための一般的注意事項 参照）
- 林野火災の多い地区に住んでいる人は、家の周りの落ち葉やゴミを常に掃除し、定期的に溝を掃除することを忘れないでください。

協力： **NSW 州消防庁、NSW 州地方消防隊、
ACT 消防庁、ACT 地方消防隊**

詳しくは、地元の消防署か消防センターにお問い合わせいただくか、
ウェブサイトをご覧ください：www.fire.nsw.gov.au www.rfs.nsw.gov.au www.esa.act.gov.au

火災に関する安全情報

- 火災から出る煙はあなたを混乱させるということと煙の中では何も見えないということ覚えておきましょう。
- 眠っているときは煙の臭いはわからないし、実際のところ煙はあなたをより深い眠りにつかせます。
- 自宅の火事から逃れることができたなら、絶対に中へ戻らずに 000 へ通報してください。
- 石油やガスや木の加熱装置は年一回保守点検が必要かもしれません。
- ヒューズは、規定容量のものだけを使用し、自動的に電源が切れる安全スイッチを設置しましょう。

緊急時には 000 をダイヤルしてください